

令和6年度農林水産総合センター「夏の体験教室」の開催状況について

農林水産総合センターでは、農林水産業への関心と理解を深めてもらうとともに、農林水産総合センターの業務を広く県民に紹介するため、児童や生徒等が農林水産物に関する実験や観察を行う「夏の体験教室」を開催しました。

夏休み期間中の7月20日（土）から8月23日（金）にかけて、県内5つの研究所や農業大学校で7つのテーマの体験教室を開催し、42組92人の児童や生徒、保護者の方に参加いただきました。

○卵の殻を使って工作をしよう！（主催：畜産研究所）

日時：令和6年7月20日（土）

参加者 11組 28人

場所：美咲町北（畜産研究所（まきばの館））

内容：卵の殻を再利用して自分だけのフォトフレームを作る。



【フォトフレームの作成状況】

参加者からは

- ・夏休みの思い出の写真を入れて、工作として学校へ持って行きたい。
- ・いつもは捨ててしまうものでも、素敵な作品を作ることができて驚いたなどの感想をいただきました。

○遺伝子にふれてみよう！（主催：生物科学研究所）

日時：令和6年8月6日（火） 参加者5人

場所：吉備中央町吉川（生物科学研究所）

内容：PCRを利用した遺伝子分析、遺伝子組換え生物の観察や
研究施設の見学。



【専門研究員と遺伝子について学習】



【研究施設の見学】

参加者からは

- ・生物が大好きで将来農学部に進学したいと思い、遺伝子に興味があったので参加してみようと思った。高校の授業では聞いたこともない専門的なことが知れて、実際に実験もできてもっと生物が好きになった。
- ・ホタルの光る理由など、確かに何で？と思うようなことが知れたり、生物の性質がどのように他の研究や生活に応用されているかが知ることができて自分の世界が広がった。
- ・日常的なPCR検査やホタルが生物という分野でどのように研究されているのか知れてうれしかった。 などの感想をいただきました。

○昆虫標本を作ってみよう！（主催：農業研究所）

日時：令和6年8月7日（水） 参加者4組8人

場所：赤磐市神田沖（農林水産総合センター）



【研究員と一緒に標本作成の状況】



【参加してくれた児童にクワガタの標本をプレゼント】

参加者からは

- ・家でも他の昆虫を捕まえて標本作製をしてみたい。
- ・親子が標本作製の作業を通じてふれ合う良い機会になったと思うなどの感想をいただきました。

○森の恵みを体験してみよう！（主催：森林研究所（林業研究室））

日時：令和6年8月8日（木） 参加者5組12人

場所：勝央町植月中（森林研究所）

内容：葉っぱを使ったスタンプやアクセサリーを作成する。



【森林の役割などを学習する状況】



【葉っぱスタンプでバッグにデコレーションしている状況】



【教室で作成したバッグとアクセサリー】

参加者からは

- ・作ったバッグとアクセサリーをたくさん使いたい。
- ・自然の素材を使用しての制作を行うことで楽しく環境についての経験ができたと思う。 などの感想をいただきました。

○木の良さを体験してみよう！（主催：森林研究所（木材加工研究室））

日時：令和6年8月9日（金） 参加者8組19人

場所：真庭市勝山（森林研究所（木材加工研究室））

内容：森林や木の話、ヒノキを使った木工体験や研究施設の見学。



【木材について学習する状況】



【施設見学の状況】



【スギやヒノキの木材を使って工作する状況】

参加者からは

- ・木目によって水の吸い方が違うことがわかった。
 - ・工作は木を重ねてボンドを付けるのが難しかった。
 - ・木は軽いけど、強度があることがわかった。
- などの感想をいただきました。

○チリメンモンスターを探せ！（主催：水産研究所）

日時：令和6年8月23日（金） 参加者5組13人

場所：瀬戸内市牛窓町鹿忍（水産研究所）

内容：選別前のチリメンを使いフグやイカなどの稚魚を探す。



【施設見学（種苗生産棟）】



【施設見学（おさかな学習室）】



【チリメンモンスター探しに挑戦中】

参加者からは

- ・夢中になってモンスターを探した。
 - ・施設見学も含めて初めてで、とても楽しかった。また参加したい。
 - ・育成の現場説明はとても勉強になった。
 - ・顕微鏡で見たモンスターの説明が分かりやすく勉強になった。
- などの感想をいただきました。